

モニタリング報告書

※障害者支援施設（生活介護）に入所して半年後の個別支援計画に対するモニタリングです。

利用者名： 綾小路 晃子

相談支援事業者名： 希望の青空

計画作成担当者： 井上 香織



受給者証番号： 1212121111

障害支援区分： 6

個別支援計画作成日： 平成28年 8月25日

モニタリング実施日： 平成29年 2月28日

総合的な支援の方針		障害者支援施設の生活に早く慣れる。 人生を諦めることなく、少しでも楽しみが見つかるようにする。 自分の生活の中で生きがいを探ることができるようにする。					
順位	支援目標	サービス提供状況	本人家族の感想・満足度	達成度	今後の課題・解決方法	計画変更の必要性	その他留意事項
1	施設の生活の流れを説明し、理解していただく。	施設の生活の流れを現した印刷物を居室に貼った。担当が何回も説明した。	掲示物を見てほしいの流れがつかめた。説明もわかりやすく理解できた。	◎	流れが理解できたので問題は無い。	無	行事等の時に説明をすることが必要である。
2	入浴や清拭で皮膚疾患の予防を図る。	週2回入浴し、日曜を除いて清拭を提供した。	週2回入浴でき、清拭も丁寧で気持ちが良い。	◎	皮膚疾患はないが、疾患がある時の対応が不安。	無	褥瘡の既往があるため注意が必要。
3	身体機能の維持を図る。	本人の状態を把握し、週5回リハビリを実施する予定が、職員の都合でうまくできない。	リハビリの回数が多いので、状態はあまりかわらない。	△	障害を負ってからリハビリを行わなかったため、関節が固くなっている。	有	週5回リハビリができるとうい。
4	外出支援を行い、楽しみを見つける。	9月14日に近くのショッピングセンターまで外出をして買い物と食事をした。	障害を負ってから初めての外出で、多少疲れたが、自分の好きな物を買うことができたので楽しむことができた。	△	2ヶ月に1度という頻度はこれ以上出来ないため、介護タクシーなどの利用も考えていく。	有	介護タクシーも検討する。
5	自分にあった車椅子を作成する。	役所に相談し、車椅子が作成できる予定。	自分の車椅子ができることになってうれしい。	◎	業者と連絡し、シートの色などを確認する。	無	多少時間がかかるのが心配である。
6	社会福祉に関する奉仕活動ができるようにする。	いろいろな利用者に紹介し、話をしている。	奉仕活動まではいかないが、利用者の話を聞くことで、傾聴の奉仕をすることができた。	△	できる部分から始めていく。相手を思いやることも奉仕となる。	無	難しい問題は悩まず職員に相談するよう話をする。

達成度は◎、○、△、×で記入する。計画変更の必要性は有・無で記載する。

利用者同意署名欄 29年 2月 28日 利用者氏名 綾小路 晃子